



(撮影 折橋尚道)

あなたと議会を結ぶ情報誌

議会だより



はこね

6月定例会

平成26年9月

No.177

主な内容

6月定例会

議案の審議結果等……………P 2

議案ごとの審議結果(表) ……P 3

一般質問……………P 4～P 6

政務活動費会計報告……………P 7

議会諸活動等……………P 8



三島市議会との勉強会 7/16

6月定例会

町議会 6月定例会は、
6月10日から6月20日までの会期で開催され、条例の改正や一般質問を行いました。

条例

○箱根町職員の配偶者同行休業に関する条例の制定
地方公務員法の一部を改正する法律が施行され、職員が外国での勤務その他の理由により外国に住所等を定めて滞在する配偶者と生活と共にするための休業制度が創立されたことから、新たな条例を制定することについて可決しました。

○箱根町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正
地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴い、人事行政の運営等の公表に關し、任命権者が報告しなればならない事項が追加されたことから現行条例の一部を改正することについて可決しました。

○救急業務高度化推進事業
高規格救急自動車用医薬品・医療器具購入
株式会社ワコー商事と1023万800円で契約することについて可決しました。

議会議事案件

○箱根町消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定
地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に關する法律により消防組織法が一部改正され消防長及び消防署長の資格を条例で定めることとされたため、新たな条例を制定することについて可決しました。

○箱根町非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例の一部改正
地方自治法の改正に伴い、消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の一部を改正する政

○固定資産評価審査委員会委員の選任
固定資産評価審査委員会委員 吉田幸伸氏は平成26年6月26日をもって任期満了となるがその後任として引き続き同人を選任することについて同意しました。

○箱根町内の神奈川県所有未利用施設を活用した「未病いやしの里センター(仮称)」の設置に係る意見書の提出
町内にある閉鎖中の県有施設を整備した上で、「未病いやしの里センター(仮称)」として利用すること

○箱根町行政財産の目的外使用に係る使用料に関する条例の一部改正
地方自治法の改正に伴い現行条例の一部を改正することについて可決しました。

○箱根町火災予防条例の一部改正
消防法施行令の一部を改正する政令が公布されたことに伴い、現行条例の一部を改正することについて可決しました。

人事

○救急業務高度化推進事業
高規格救急自動車用医薬品・医療器具購入
株式会社ワコー商事と1023万800円で契約することについて可決しました。

○箱根町非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例の一部改正
地方自治法の改正に伴い、消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の一部を改正する政

○固定資産評価審査委員会委員の選任
固定資産評価審査委員会委員 吉田幸伸氏は平成26年6月26日をもって任期満了となるがその後任として引き続き同人を選任することについて同意しました。

○箱根町内の神奈川県所有未利用施設を活用した「未病いやしの里センター(仮称)」の設置に係る意見書の提出
町内にある閉鎖中の県有施設を整備した上で、「未病いやしの里センター(仮称)」として利用すること

工事請負契約

○消防無線デジタル化推進事業 消防救急無線デジタル化活動波工事
NEC ネットスエスアイ株式会社神奈川支店と3億8048万4000円で契約することについて可決しました。

○救急業務高度化推進事業
高規格救急自動車
神奈川トヨタ自動車株式会社 直販部と203万4000円で契約することについて可決しました。

報告事項

○平成25年度箱根町一般会計予算繰越明許費の繰越しについて
○平成25年度箱根町一般会計予算の事故繰越しについて

○箱根町設置条例の一部改正
地方自治法の改正に伴い、現行条例の一部を改正することについて可決しました。

○箱根町非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例の一部改正
地方自治法の改正に伴い、消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の一部を改正する政

○救急業務高度化推進事業
高規格救急自動車
神奈川トヨタ自動車株式会社 直販部と203万4000円で契約することについて可決しました。

○箱根町土地開発公社経営状況の報告について
○公益財団法人箱根町文化・スポーツ財団経営状況の報告について

物件供給契約

○救急業務高度化推進事業
高規格救急自動車
神奈川トヨタ自動車株式会社 直販部と203万4000円で契約することについて可決しました。

○救急業務高度化推進事業
高規格救急自動車
神奈川トヨタ自動車株式会社 直販部と203万4000円で契約することについて可決しました。

○箱根町土地開発公社経営状況の報告について
○公益財団法人箱根町文化・スポーツ財団経営状況の報告について



○箱根町土地開発公社経営状況の報告について
○公益財団法人箱根町文化・スポーツ財団経営状況の報告について

議案ごとの審議結果

6月定例会	議決結果	村野由紀子	川端祥介	川口延明	勝俣剛一	小川鶴雄	勝俣公好	山田成宣	稲葉親太郎	山田和江	石川栄	遠藤秀則	折橋尚道	沖津弘幸	西村和夫
議案等															
箱根町職員の配偶者同行休業に関する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
箱根町消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長
箱根町部設置条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	は
箱根町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採
箱根町行政財産目的外使用に係る使用料に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	決
箱根町町税条例等の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	に
箱根町非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	参
箱根町火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	加
工事請負契約の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	し
物件供給契約の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	ま
物件供給契約の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	せ
固定資産評価審査委員会委員の選任について	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
箱根町内の神奈川県所有未利用施設を活用した「未病いやしの里センター（仮称）」の設置に係る意見書の提出について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ん

※ 記号の説明 可：原案可決 同：原案同意 ○：賛成 ×：反対

“ 議会を傍聴してみませんか ”

議会は公開を原則にしていますので、どなたでも会議の傍聴をすることができます。町政を身近に知るためにも議会の傍聴をおすすめします。

傍聴を希望される方は本会議の当日、議会事務局(箱根町役場本庁舎4階)で受付簿に住所、氏名などを記入していただくだけで結構です。

本会議は6月・9月・12月・3月の年4回の定例会とそれ以外の月に開催される臨時会があります。

日程は議会運営委員会で決定されます。

詳しいことは、議会事務局までおたずね下さい。(☎85-9570)

町の考え方を問う

一般質問

6月定例会では、町政全般へ8人の議員が17項目にわたる一般質問を行いました。なお、質問者及び質問項目は、左の表のとおりです。

掲載にあたっては紙面の都合上、質問内容、回答共に抜粋し、編集したものと なっておりますのでご了承ください。

- 石川 栄(P 4) ☆2040年の人口問題について
☆箱根町総合計画について
 - 勝俣 公好(P 4) ☆南足柄市と箱根町を連絡する道路(南箱道路) に関連する仙石原地区の道路整備について
 - 村野由紀子(P 5) ☆箱根町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について
・有害鳥獣対策について
 - 川端 祥介(P 5) ☆地球温暖化対策について
・オープンデータについて
☆公共クラウドについて
 - 川口 延明(P 5) ☆今後の観光戦略について
 - 折橋 尚道(P 6) ☆箱根町観光関係予算について
・オリンピックを見据えた観光施策について
・新たな経済活動が期待される南足柄市との連絡道路とジオパーク参入について
・観光圏の取り組みについて
 - 勝俣 剛一(P 6) ☆救急患者の搬送について
・地域防災取り組みについて
 - 山田 和江(P 6) ☆住宅リフォーム助成制度で地域経済活性化を
・公共施設について
- 質問が複数ある議員については☆のついている方を掲載しています。



2040年の人口問題について
石川 栄

Q 5月8日にテレビ放映された2040年には人口減少により消滅の可能性がより高い市町村リストに箱根町も挙げられたことについて

A 報道についてショッキングな推計に驚いている。ただ、何もしない場合の推計と認識している。一つの警鐘として真摯に受け止め、今後の人口推移を注視しながら努力していく。

Q 消滅しないための早い対応が必要と考えるが、各部署若手職員中心のプロジェクトをスピード感を持ち、立ち上げることは出来ないか

A 定住化対策は重要課題として認識している。平成14年に住宅政策検討プロジェクトを立ち上げた。特に「子育て支援」は小児医療費助成制度、低廉な保育料など県内トップクラスの支援対策を実施したが、これらの施策が直接的

に定住化に結びついているのか再度検証をし、次期総合計画策定を通じて総合的な取り組みをしていきたい。

Q 総合計画について
総合計画は町の最上位計画であり5年ごとの進捗状況が示されていないようなので進捗・進捗管理等について今後どのように対応していくのか

A 総合計画に位置付けられた各施策を検証することは次期総合計画を策定する上で欠かせない作業であるので早急に取り組んでいきたい。



南足柄市と箱根町を連絡する道路(南箱道路)に関連する仙石原地区の道路整備について
勝俣 公好

Q 南箱道路の開通は、産業や、経済の活性化と発展につながると共に渋滞解消にも、大いに役立つものと期待しています。国道138号線に接続する交差点の渋滞解消について伺います。

A 交差点でのスムーズな交通の確保を図るためには、各方面からの右折車への対応が必要である。具体的には国道138号、仙石原交差点から、南箱道路入り口に向かう車の右折専用レーンや、南箱道路、南足柄市側からの、国道138号、仙石原交差点に向かう車の左折専用レーンが設置できれば、交差点での渋滞対策に有効な手段と考えている。

Q 南箱道路開通に伴う仙石原交差点付近の渋滞解消について

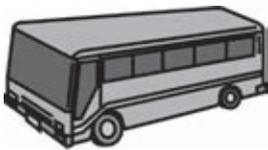
A 地元にも情報提供し意見を伺いながら、早期完成できるように努めていきたい。

A 県が行ってきた交差点改良は、地権者の了解が得られず、進展していない。

一方当初の地元要望から年月が経過しており、交差点を取り巻く状況に変化が生じている。

こうした中、右折車線相当幅員の確保による右折車の分離等現計画に影響が少なくない計画変更ができないか等、検討協議を関係機関と行っていきたい。

事業実施するには、地元の方の用地協力が必要不可欠なので、町も、県と調整後、仙石原地域総合整備協議会を早々に開催をし、地域の皆さんの意見を伺うなど、県の取り組みに協力をしていく。





有害鳥獣対策について

村野 由紀子

Q 県の新事業である、観光地等におけるイノシシ集中捕獲モデル事業は、どのような内容でしょうか。

A 県の計画では、環境課で管理をしている、宮城野苗甫の敷地内に、高さ2.3m、幅2m、奥行3mの囲いわなを設置し、イノシシを集中的に捕獲する。実際に罠をかけるのは、7月から60日程度と聞いている。

Q 仮称、箱根町有害鳥獣防止対策協議会を設置する予定と聞くことで、環境課、JAかながわ西湘、箱根町自治会連絡協議会、県猟友会箱根支部、環境省などが、参加予定、鳥獣被害対策実施隊に関する事項、その他被害防止施策の実施体制に関する事項、など検討協議をして行くという事ですが、大変重要になってきますので、早急に設置をして、開催してほしいが、予定はどうなっていますか。

A 7月中旬に第1回の会議を開催する予定です。

Q 猟友会の方々もよくやって下さっています。ですが、罠免許の取得、猟銃免許の取得者の確保について伺います。

A 当面は、猟友会のメンバーを中心にやっていく。県から示されている捕獲実施者の数は、必要最小限というような基準もある。新たに配属された、職員に罠免許の取得を考えている。



地球温暖化対策について

川端 祥介

Q 地球温暖化対策についてIPCCが4月に報告した温暖化について、この報告に対する、町長のご見解と、町の引き続きの温暖化防止の目標の設定や企業、また住民に対する具体的な取り組みについて、お伺いをさせていただきます。

A 一人ひとりが無理なく、環境問題に取り組みながら、恵まれた自然環境の保護に努め、世界から目標とされる環境先進観光地箱根を目指している。町でも地球温暖化対策に取り組んでおり、企業や住民に対しては、箱根町環境基本計画において、環境保全行動指針を定め、環境に配慮した行動の実践を通じて、環境先進観光地として地球環境保全に貢献する社会を目指し、地球温暖化防止に向けた、普及啓発活動を展開している。

Q 町にふさわしい、CO2の削減に向けた

A エネルギー施策や、木材、温泉熱を活用した電源の地産地消をどのようにお考えなのか、お伺いをさせていただきます。

A 温泉資源の保護を最優先に考えた上で、発電等のために、温泉の採取量を増やすことなく、浴用を利用する前後の温泉熱を発電設備やヒートポンプを導入することにより、有効活用し、本来の温泉としての利用に影響を及ぼさない範囲において、再生可能エネルギーとしての温泉の地産地消を図る。

木材については木質バイオマス発電の検討をしている小田原市を注視しながら、研究していく。



今後の観光戦略について

川口 延明

Q 案内表示物の多言語表示について

A 外国人が観光する中で、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを一つの契機として、進展させていかなければならないと思っているが、見やすさや看板の規模の制限もあり、英語と日本語の併記を基本としている。道路標識については、当町は、地方拠点に選ばれているため道路標識適正化委員会神奈川県部会の中で、道路案内標識の改善について、内容の検討が始まっている。

Q 共通乗車券への推進が図れないか。

A 共通化が図れば、利用者にとって便利になることは間違いないが、交通事業者にとっては、我々が考えているよりも、はるかに難しい問題であると感じた。

A 当町では、山梨県、静岡県と神奈川県が協力して、FreeWiFiプロジェクトを立ち上げ、WiFi環境の向上を推進しており、今後も広域的に協力していきたいと思っている。

外国人であれば総合観光案内所か、湯本駅構内案内所で受け取れるフリーWiFiカードを使用し、14日間、無料でWiFiを利用できることになっております。

Q 当町としては、電波状況が不安定な山間部を抱える中で、環境の整





箱根町観光関係予算について

折橋 尚道

Q 観光予算の削減によって、誘客宣伝の効果下がることが想定される中で、効果的な誘客宣伝が望まれるが、どのような取組を予定しているのか。

A 誘客宣伝の重点項目は、収客力の高いイベントでの誘客宣伝事業の展開、箱根ジオパークの魅力を伝えるとともに自然を意識した宣伝、ホームペー

ジ・フェイスブック・ツイッター等のSNSの充実と季節感を意識し近隣市町村と協力した宣伝。外国人誘客ではスイスサンモリッツとの友好都市を意識したブランド作りとインバウンドの強化等の実施をしていく。また、圏央道の開通に伴い北関東からの新たな誘客に力を入れて取り組む予定。

Q 2020年東京オリンピックを前にして、海外からの誘客に関する長期的な計画と観光庁などの国や県の窓口との連携、また主な大使館

などへ観光に関する営業などの働きかけの検討はされているのか。

A 長期的な計画は現在ないが、国の内閣官房2020年オリンピック・パラリンピック東京大会推進室や県の神奈川県ビジョン推進本部など国や県の動向を確認しながら取り組みを計画していく。町内では民と官でオリンピック対策の準備委員会を立ち上げる予定である。

Q 南足柄市の箱根ジオパーク参入が予定されているが、具体的な経過と予定は。

A 箱根ジオパークは平成28年度に再認定審査を控えているので、その際に南足柄市の編入によるエリア拡大手続きを行う予定である。



救急患者の搬送について

勝俣 剛一

Q 町内に在住の人たちの安全を図るための急病患者の搬送について昨年度の、救急搬送の回数も増加し、その3割以上が町内在住者であったと聞いております。昨年度、導入された救急医療情報キット利用を含め現状をお伺いいたします。

A 現在381軒に、配付をしている。

Q 町民より救急依頼を受け、医療機関への搬送先が決まらず、時間を要することがあると思われまます。過去に、ほかの市町村において、たらい回しにされ死に至った事例もあつたと記憶しておりますが、当町において、そのような危険な状態の事例があつたかどうか、お伺いいたします。

A まれに専門外の傷病け入れが困難であるなどの理由から、病院の決定に時間がかかることもあるが、

通常は病院選定により搬送が扱われることはほとんどない。

Q 搬送時に問題となる交通渋滞時の対処について伺います。最近は、湯本地区に限らず、宮ノ下元箱根地区など、全山で上下線ともに渋滞が多く発生しているようですが、渋滞時の搬送時間など、状況についてお伺いいたします。

A 渋滞時においても、現場を出発してから小田原市内の病院に到着するまでの走行時間にはほとんど差がない状況である。



住宅リフォーム助成制度で地域経済活性化を

山田 和江

Q 中小建設業者の仕事おこしに役立ち、地域経済に大きな波及効果を持つている「住宅リフォーム助成制度」は全国で628、県内で18の自治体の実施をしている。中小建設業者の工事業や新築住宅着工件数が減少している一方、設備の改善、バリアフリーや耐震、断熱などの住宅リフォームへの要望が高まっている。住宅リフォーム関連業種は30にも及び、各地で助成額の8倍から30倍という大きな事業量になっている。町長は財源確保策として新たに都市計画税や固定資産税の超過課税の導入に言及しているが、それよりも、地域住民に喜ばれ地域経済が元気になる景気対策を行い税収増を図るべきだ。

A 建設関連事業者は数が少なく経済波及効果は認められないという根拠について

Q 宮城野保育園は旧城内箱根分校跡地へ早くに建て替えに着手すべき

A 今のまま宮城野保育園・温泉幼稚園を存続させていく。

A 箱根町建設業協会の要望事項にはなく経済波及効果への期待感は大

きくないが、今後例えば空き家の有効活用をはかり、移住を促進するためにリフォームを含めた助成を行っていくなど検討を進めていく。

Q 消費税増税に加え、新税の導入は地域経済を冷え込ませるだけと考える。

A 使用料、手数料の見直しや公共施設の維持管理費の削減など代替策を十分に実施した上で新税の導入が必要と判断したら議会の力も借り議論を深めていく。

Q 消費増税に加えて、新税の導入は地域経済を冷え込ませるだけと考える。

A 使用料、手数料の見直しや公共施設の維持管理費の削減など代替策を十分に実施した上で新税の導入が必要と判断したら議会の力も借り議論を深めていく。

Q 宮城野保育園は旧城内箱根分校跡地へ早くに建て替えに着手すべき

A 今のまま宮城野保育園・温泉幼稚園を存続させていく。



平成25年度 政務活動費会計報告

地方自治法や町議会政務活動費の交付に関する条例に基づき、議員の調査研究に必要な経費の一部として、会派及び議員に対し、政務活動費を交付しています。平成25年度における支出状況は次のとおりです。なお、平成25年度は9月に改選が行われたため、前期・後期に分かれております。

全ての会派及び議員において、支出額が交付額を上回ったため、返還額はありませんでした。

【前期分】

(単位：円)

会派・議員名		至誠会	公明党	緑風クラブ	改革はこね	日本共産党
人数(人)		8	2	2	2	1
交付額		480,000	120,000	120,000	120,000	60,000
支出額		791,648	121,170	122,790	197,912	61,889
内 訳	調査旅費及び研修費	791,648	34,320	122,790	197,912	0
	資料作成及び購入費	0	18,600	0	0	41,202
	広報・広聴費	0	68,250	0	0	18,500
	事務費	0	0	0	0	2,187
返還額(自己負担額)		0(311,648)	0(1,170)	0(2,790)	0(77,912)	0(1,889)

【後期分】

会派・議員名		至誠会	緑風クラブ	公明党	日本共産党	勝俣公好
人数(人)		7	3	2	1	1
交付額		420,000	180,000	120,000	60,000	60,000
支出額		578,825	195,975	125,718	64,845	64,284
内 訳	調査旅費及び研修費	578,825	195,975	34,320	0	64,284
	資料作成及び購入費	0	0	19,860	42,375	0
	広報・広聴費	0	0	69,460	21,000	0
	事務費	0	0	2,078	1,470	0
返還額(自己負担額)		0(158,825)	0(15,975)	0(5,718)	0(4,845)	0(4,284)

表紙の写真 大募集!!

次号(12月発行)の表紙に掲載する写真を募集します。氏名、住所、電話番号を記載したものを必ず同封して下記の宛先にご応募ください。締切は10月31日(金)

テーマ「自然(風景・植物・動物・昆虫など)」

宛先：〒250-0398 箱根町湯本256番地 箱根町議会事務局 行

E-Mail：web_gikai@town.hakone.kanagawa.jp

応募の条件

- ・オリジナル作品で未発表の写真に限ります。
- ・横長の写真を募集します。 ・合成写真はご遠慮ください。
- ・応募者は応募作品の制作者であること、また応募作品の著作権を完全に保有していること
- ・掲載した画像の著作権並びに被写体の持つ諸権利(特に肖像権)に関して、箱根町および箱根町議会は一切の責任を負いかねます。
- ・現像した写真でもデータでも応募いただけますが、提出された写真は、返却いたしませんのでデータでの提出を推奨いたします。

議会改革等推進特別委員会

経過報告

題を設定し検討をしていきます。後の検討課題として提出されました。

総務企画観光常任委員会

また、9月定例会から、

議会は、議会基本条例のつとめておりますが、昨年2月にアンケート調査があった、早稲田大学マニフェスト研究所が実施した、議会改革調査2013によると、箱根町の議会改革の進行状況が、回答のあった全国の144議会中、776番との結果が報告されました。評価は議会改革が、遅れているとした厳しい結果となり、今後さらに改革の速度を上げた努力が必要となりました。

- ① 町の観光戦略について
- ② 空き家対策と定住化について
- ③ 防災について
- ④ 町の財政対策について

傍聴される皆さんへ審議資料の貸出を行います。部数に限りがありますのでご希望に添えない時もあるかと思いますがぜひ傍聴しに来てくださいます。町民の皆さんとの意見交換会も行って議

教育福祉環境常任委員会

会ホームページの掲載内容の見直しや議会交際費の見直しも行います。今後の議会改革においても先進地の事例を調査・研究し、進め

- ① 教育の充実と施設の維持管理について
- ② 定住化対策と子育て支援について
- ③ 有害鳥獣対策の調査研究について

以上の内容が委員会での今

ていきます。

7月17日の定例会で各常任委員会が、次のような課



情報化研修会

箱根町・洞爺湖町 姉妹都市 提携50周年

50年目を迎えた姉妹都市提携を記念し洞爺湖町で記念式典が行われ、町だけでなく議会同士も手を取り合い、お互いの絆を深めました。また洞爺湖町内の施設の視察を行いました。



編集後記

猛暑の夏は、熱中症やその他体に不調をきたすので、注意が必要となり、好ましくはありませんが、それでも夏はある程度、夏は暑くなってもらわないと、夏らしくないとの思いがありま

す。しかし、今年の夏の天気は猛暑の日があり、また、長雨や霧などの天候不順があるなど、その落差の大きさに振り回されていたようです。

幸い箱根は豪雨による災害の発生はありませんでしたが、日本各地で起きた災害には心が痛む思いでレ

ビを見ていました。特に広島県での土砂災害に見舞われ、命をなくされた多くの方々に衷心よりお悔やみ申し上げます。

さて、議会だより編集委員会では、昨年の秋から委員会委員が変更になり、委員会発足当初より「見やす

く情報の豊かな議会広報誌づくり」を目指しています。本年3月より、一般質問の議員の写真の掲載や常任委員会での活動内容の掲載。

また、書面構成に工夫を凝らし読者に目を向けてもらうような紙面づくりを目指しています。これからは、記事の内容にも、日常的な

議会だより編集委員会

- 委員長 稲葉親太郎
- 副委員長 村野由紀子
- 委員 遠藤 秀則
- 委員 折橋 尚道

(折橋 記)